



2009年第3四半期 連結決算概要

中外製薬株式会社
財務経理部長
板垣 利明

2009.10.27

将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注:本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示
増減、%は億円単位で表示された数字で計算

第3四半期(累計)業績概要

- 前年同期比で大幅な増収増益決算
 - 売上高 34.8%増、タミフルを除く製商品売上高10.9%増
 - ・ 国内販売好調。がん領域は25.6%増、トップシェア*を維持
 - ・ 海外製商品売上高は円高の影響で4.8%減
 - 営業利益 47.7%増
 - ・ 増収により売上総利益は17.1%増
 - ・ 販管費は5.3%増
 - 経常利益 54.6%増、純利益 35.9%増
 - ・ 為替予約により営業外収益が増加
- 売上高、費用の進捗および為替影響等を勘案し、10月7日に通期業績予想を修正(公表済み)

* 市場の範囲は弊社定義による
シェアの計算はIMSデータに基づく

Copyright IMS Japan KK,2009

2009年9月YTD

無断転載禁止

損益の概要 1-9月実績

【億円】	2008年		2009年		増減	
	1-9月	売上 (%)	1-9月	売上 (%)		(%)
売上高	2,297		3,097		+800	+34.8
製商品売上高	2,249		3,034		+785	+34.9
タミフルを除く	2,232		2,476		+244	+10.9
タミフル	17		558		+541	-
その他の営業収入	48		63		+15	+31.3
営業利益	398	17.3	588	19.0	+190	+47.7
営業外収益	43		78		+35	+81.4
営業外費用	14		5		▲9	▲64.3
経常利益	427	18.6	660	21.3	+233	+54.6
特別利益	73		3		▲70	▲95.9
特別損失	4		1		▲3	▲75.0
当期(四半期)純利益	301	13.1	409	13.2	+108	+35.9

- 製商品売上高(タミフルを除く) +244億円
- タミフル* +541億円
- その他の営業収入 +15億円
 - マイルストーン収入
 - コプロモーション収入
- 営業利益 +190億円
- 営業外収支の増加 +44億円
 - 為替予約
- 特別損益の減少 ▲67億円
 - アクテムラ共同開発精算金
 - (2008年4月)

期中平均レート(円)

	2008年1-9月	2009年1-9月
CHF	100.08	85.68
EUR	160.93	129.32

* タミフル 内訳	2008年 1-9月	2009年 1-9月	増減
通常	15億円	185億円	+170億円
行政備蓄等	2億円	373億円	+371億円

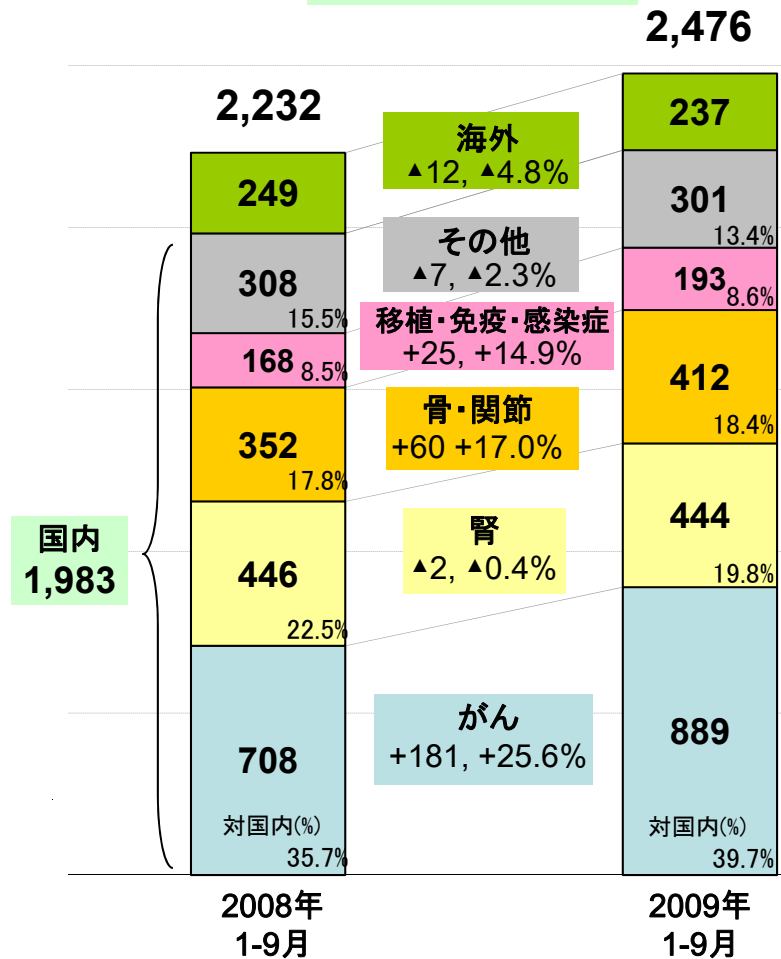
製商品売上高(タミフルを除く)の増減内訳 1-9月実績

【億円】

製商品売上高
(タミフルを除く)
+244, +10.9%

主要製商品 売上高増減

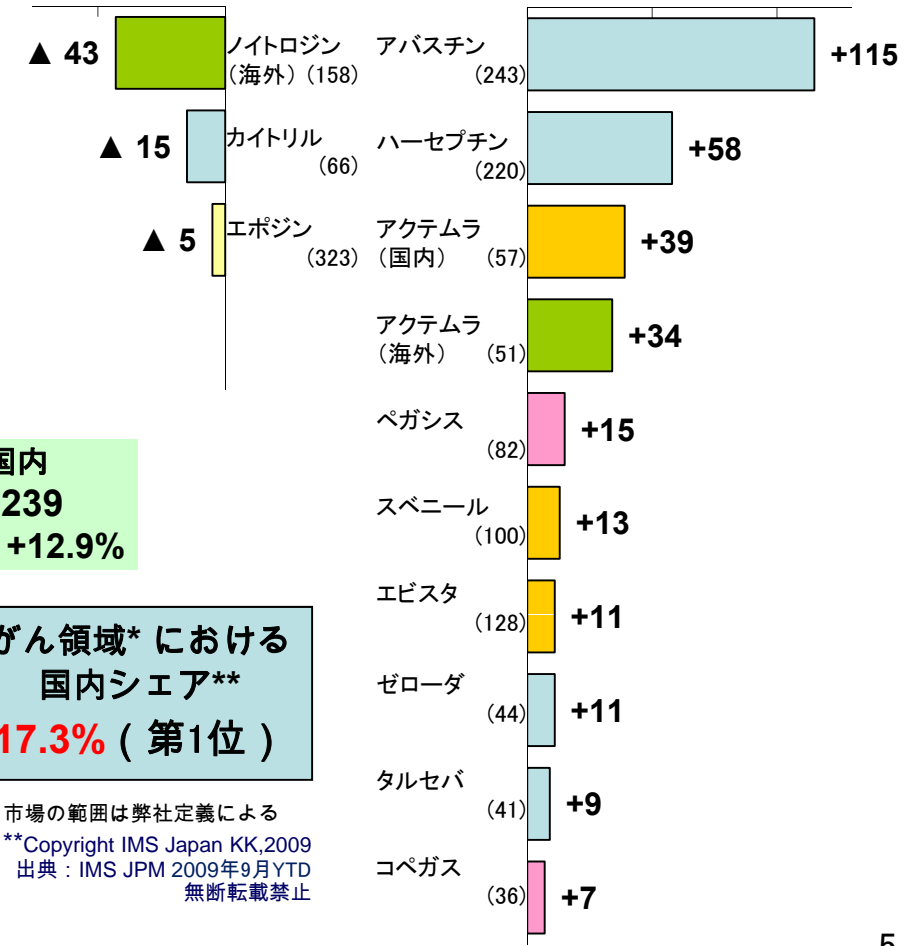
前年同期比、()内:2009年実績



国内
2,239
+256, +12.9%

**がん領域* における
国内シェア**
17.3% (第1位)**

* 市場の範囲は弊社定義による
** Copyright IMS Japan KK, 2009
出典: IMS JPM 2009年9月YTD
無断転載禁止



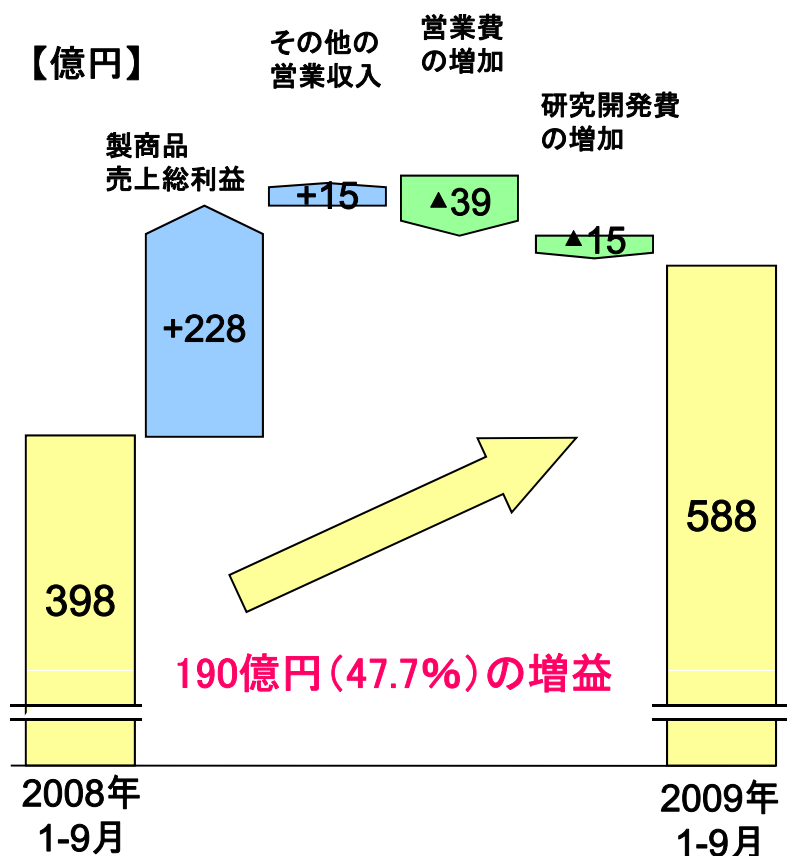
タミフルの売上状況

【億円】	決算期売上											シーズン 売上	定点観測数* (百万人)	
	2005年12月期		2006年12月期		2007年12月期		2008年12月期		2009年12月期					
	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-9月	10-12月			
通常	2004/2005	232											246	1.47
	2005/2006		119	99									218	0.92
	2006/2007				37	50							87	1.01
	2007/2008						52	14					66	0.66
	2008/2009								57	110			167	1.27
	2009/2010										76	n.a		
通常		351 (+265)	136 (-215)	102 (-34)	71 (-31)									
行政備蓄等	2005/2006		2	65									67	
	2006/2007				179	189							368	
	2007/2008						96	2					98	
	2008/2009								11	144			155	
	2009/2010										229	n.a		
行政備蓄等		2 (+2)	244 (+242)	285 (+41)	13 (-272)									
合計		232	120	163	216	238	148	16	68	254	304	91		
		352 (+266)	380 (+28)	387 (+7)	84 (-303)	649** (+565)								

* 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」10月下旬から4月中旬の合計患者数

** 530億円(期初公表業績予想)から修正(10月7日修正予想)

営業利益の増減内訳 1-9月実績



【億円】	2008年 1-9月	2009年 1-9月	増減	増減
				(%)
売上高	2,297	3,097	+800	+34.8
売上原価	876	1,433	+557	+63.6
売上総利益	1,421	1,664	+243	+17.1
うち 製商品	1,373	1,601	+228	+16.6
うち その他の営業収入	48	63	+15	+31.3
営業費	659	698	+39	+5.9
研究開発費	363	378	+15	+4.1
営業利益	398	588	+190	+47.7

- 製商品売上総利益の増加 +228億円
タミフル、国内がん製品売上等の伸長
- 営業費の増加 ▲39億円
新製品等(アバステン、アクテムラ等)の市場浸透
人件費(退職給付費用等)の増加
- 研究開発費の増加 ▲15億円
減価償却費(製薬研究設備)の増加

損益の概要 7-9月(第3四半期)実績

【億円】	2008年 7-9月		2009年 7-9月		増減	
		売上 (%)		売上 (%)		(%)
売上高	838		1,180		+342	+40.8
製商品売上高	800		1,175		+375	+46.9
タミフルを除く	799		870		+71	+8.9
タミフル	1		304		+303	-
その他の営業収入	38		5		▲33	▲86.8
売上原価	313		594		+281	+89.8
売上総利益	525	62.6	586	49.7	+61	+11.6
営業費	237		237		+0	+0.0
研究開発費	121		133		+12	+9.9
営業利益	167	19.9	216	18.3	+49	+29.3
経常利益	184	22.0	226	19.2	+42	+22.8
当期(四半期)純利益	113	13.5	146	12.4	+33	+29.2

- 製商品売上高(タミフルを除く) +71億円
 - アバステン +33億円
 - アクテムラ(海外) +18億円
 - アクテムラ(国内) +11億円
 - ハーセプチン +9億円
 - ノイトロジン(海外) ▲12億円
- タミフル* +303億円
- その他の営業収入 ▲33億円
 - マイルストーン収入(前年)
- 営業利益 +49億円

* タミフル 内訳	2008年 7-9月	2009年 7-9月	増減
通常	1億円	76億円	+75億円
行政備蓄等	-	229億円	+229億円

損益の概要

【億円】	実績	2月4日 期初予想		修正額	10月7日 修正予想		2008年 1-9月 /1-12月 (%)
	2009年 1-9月	2009年 1-12月	進捗率 (%)		2009年 1-12月	進捗率 (%)	
売上高	3,097	4,000	77.4	+200	4,200	73.7	70.3
製商品売上高	3,034	3,903	77.7	+197	4,100	74.0	69.9
タミフルを除く	2,476	3,373	73.4	+79	3,452	71.7	71.2
タミフル	558	530	105.3	+119	649	86.0	20.2
その他の営業収入	63	97	64.9	+3	100	63.0	94.1
営業利益	588	630	93.3	+40	670	87.8	77.1
経常利益	660	635	103.9	+105	740	89.2	74.5
当期(四半期)純利益	409	400	102.3	+60	460	88.9	76.6

製商品売上高予想(10月7日公表)の内訳

【億円】

		537		638	
		上期		下期	
がん	修正予想 通期 (対期初予想) 1,242 (+67)	578		665 3Q: 311 + 4Q残: 353	
		284	335		
腎	619 (±0)	288	331 156+175		
		264	320		
骨・関節	589 (+4)	269	320 143+177		
		131	170		
移植・免疫・感染症	283 (▲18)	128	155 65+90		
		197	221		
その他	417 (±0)	200	217 100+116		
		138	139		
海外	300 (+23)	142	158 95+63		
		390	140		
タミフル	649 (+119)	254	395 304+91		

	対期初予想	通期	(上期 , 下期)
がん	+67	(+41 , +27)	
アバステン	+46	(+24 , +22)	
ハーセプチン	+25	(+21 , +4)	
リツキサン	+6	(+3 , +2)	
カイトリル	▲10	(▲3 , ▲6)	
ノイトロジン	▲6	(▲5 , ▲0)	
移植・免疫・感染症	▲18	(▲3 , ▲15)	
ペガシス	▲7	(+0 , ▲8)	
コペガス	▲6	(▲1 , ▲5)	
海外	+23	(+4 , +19)	
アクテムラ	+11	(+1 , +10)	
ノイトロジン	+8	(▲2 , +10)	

上段: 2月4日 期初予想
下段: 10月7日 修正予想



Roche ロシュグループ

研究開発の状況

中外製薬株式会社
プロジェクト推進部長
高梨 契典

2009.10.27

開発の状況ーがん領域（1）

自社品

アクテムラ: 膵がん 09年9月P1/2試験開始

→ 国内、ゲムシタビン併用による一次治療

自社品

TP300: 胃がん等 09年10月P2試験開始

→ トポイソメラーゼ I 阻害剤。英国で実施

開発の状況ーがん領域（2）

ロシュ
導入品

アバスチン: グリオブラストーマ

➡ ロシュが実施中のP3国際共同治験に参加、
別途再発例での国内P2試験開始

ロシュ
導入品

RG1273 (pertuzumab):

乳がん 09年7月P3試験開始

➡ HER二量体化阻害ヒト化モノクローナル抗体、
ロシュが実施中のP3国際共同治験に参加

開発の状況ーがん領域（3）

ロシュ
導入品

ゼローダ: 大腸がん 09年9月承認

→ オキサリプラチンとの併用療法（XELOX療法）承認
同時にアバスチンとXELOX療法の併用も承認

ロシュ
導入品

タルセバ: 膵がん 09年9月承認申請

→ ゲムシタピン併用による一次治療

ロシュ
導入品

アバスチン: 乳がん 09年10月承認申請

→ 標準化学療法併用による一次治療

ロシュ
導入品

RG3502: 乳がん 09年10月P1試験開始

→ Trastuzumab-DM1、抗HER2薬剤結合抗体

開発の状況一骨・関節（1）

自社品

RoACTEMRA（欧州）：

- 関節リウマチ (RA) に伴う関節破壊抑制/身体機能改善
09年9月承認申請

→ LITHE試験2年データの良好な成績に基づき申請

- 英国NICEは中等度から重度のRAに対する治療に関し、RoActemraの使用を推奨しないことをNICE評価プロセスの第一段階のAppraisal Consultation Documentで発表

→ ロシュはNICEの最終結論に向けて回答準備中

自社品

ED-71（エルデカルシトール）：

骨粗鬆症 09年10月承認申請

→ 活性型ビタミンD₃誘導体、大正製薬との共同開発

開発の状況一骨・関節（２）、腎領域

ロシュ
導入品

RG1594（オクレリズマブ）： 関節リウマチ

- ロシュは、MTX未治療の関節リウマチ患者を対象としたFILM試験およびループス腎炎の試験を中断（感染症の発現状況をもとにリスクベネフィットバランスを考慮した結果）
- 他の試験についてはアジア太平洋地域での臨床試験における新たな投与を中断（日和見感染の発現率が他の地域に比べて高いため）
- 同決定を受け、国内で実施中の臨床試験（グローバル試験であるSCRIPT試験および国内P1/2試験）についても、新たな投与を保留することを決定

➡ 今後の対応についてはロシュおよび当局と協議

ロシュ
導入品

RG744（C.E.R.A.）： 腎性貧血 09年7月承認申請

➡ 4週1回投与による安定的なヘモグロビン維持

開発の状況—その他の領域

導入品

**RG1583/ITM-077 (taspeglutide):
Ⅱ型糖尿病 09年7月P2試験開始**

➡ GLP-1アナログ、帝人との共同開発

導入品

NTZ: C型慢性肝炎 09年8月P1試験開始

➡ チアゾリド系化合物、Romark社より導入

ロシュ
導入品

**RG1450:
アルツハイマー病 09年10月P1試験開始**

➡ ヒト抗アミロイドベータモノクローナル抗体

その他の変更

	品目 / 適応	開発フェーズ	備考
アクテムラ	多発性骨髄腫	P2	
	クローン病	P2	
	キャッスルマン病(海外)	P1	
	全身性エリテマトーデス	P1	
その他	GM-611 (モチリンアゴニスト)	P1(日本) P2(海外)	糖尿病性胃不全麻痺 過敏性腸症候群
	RG1579 (DPP-IV阻害剤)	P1	II型糖尿病

現在のパイプラインにおける優先順位を総合的に見直した結果、パイプライン表から削除

お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：広報グループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : pr@chugai-pharm.co.jp

担当：山田、広瀬、荒木

投資家の皆様：IRグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：内田、前田、清水、時田